

# 議員団ニュース

2008年  
10月 臨時号

## 連絡先

日本共産党平塚市議会議員団  
電話0463(23) 1111(内線2375)  
平塚市浅間町9の1 平塚市議会控室  
団 長・渡辺敏光 ☎(31) 6431  
幹事長・松本敏子 ☎(59) 4607

9月議会での市長提案の一般会計補正予算案(以下補正予算)が否決されたことに対し、「女性市長とあゆむ平塚」(発行責任者 重田裕子氏 \*以下「あゆむ平塚」)は、日本共産党平塚市議会議員団の補正予算への見解をねじ曲げ、市内全域にチラシを配布しています。  
「あゆむ平塚」に強く抗議し、ただちに撤回と配布の中止を求めるとともに、改めて日本共産党の見解をお知らせいたします。



市内全域に配布された「女性市長とあゆむ会」の機関誌「女性市長とあゆむ平塚 No.33」



年金天引きは高齢者の生活を脅かすだけでなく、憲法25条にも違反します。

# これ以上 天引きされたら生きていけない! 容赦なく取り立てる年金天引き

## 住民税年金天引きの 準備予算に反対

日本共産党市議団は、補正予算に反対しました。

その理由は、65歳以上の住民税を来年10月より年金天引きするための準備費が計上されていたからです。

すでに、年金から介護保険料が天引きされています。75歳以上の方は、今年から後期高齢者医療制度の保険料も年金から天引きされています。

その上、住民税の天引きを行うというのです。

年金天引きはこれだけではありません。さらに、平塚市では再来年には国民健康保険税の天引きも始まります。

税金徴収強化のための天引きは、お年寄りの生命にかかわる問題にまでなっています。

議会では、今後も年金天引きに関係する予算が次々と出されてきます。その入り口となる天引きの準備費が入っている予算に共産党が反対したのは当然ではないでしょうか。

## 「事実をゆがめた報道」

9月25日、9月議会定例会最終日の「補正予算」の反対討論では「年金天引き準備経費、この一点に反対する」、「駐輪場建設は市長提案の内容を支持する」と明確に述べました。「あゆむ平塚」発行責任者も議会傍聴してましたから、このことは承知しています。

にもかかわらず「あゆむ平塚」では、日本共産党市議団が反対したことを「3党派18人の議員が補正予算に反対し」「反対の理由は、商工団体から要望のあった1階への店舗併設が受け入れられなかったこと」としています。

これは事実を大きくゆがめ、多くの市民に誤解を招くものです。



## 駅西口東地自転車・バイク駐車場

### 建設工事費の提案内容は支持している！

#### 駐輪場に対する共産党の討論

この補正予算の反対理由は、市民税賦課事業（年金天引き）に対してだけである。

駅周辺の駐輪対策と自転車利用者の利便性の向上を図ることを目的としているこの事業は、原案通りの内容でいいという判断をしている。

店舗を入れるかどうかの問題で、目的外使用と行政財産の貸与についても議論されているが、目的外使用が「付帯施設並びにこれらの施設に余裕がある場合」とし、「長期安定的な利用を可能」とした制度であるとしている。

この施設ができて、放置自転車はすべて解消できない現状であり、余裕があるとは言えない。よってこの駐車場に別の施設を入れることなく、提案されている内容で行くのが良いと考える。

## 日本共産党の予算への対応は

日本共産党の予算に対する考え方は、その中に賛成できるものがあつたとしても、他に市政のあり方・進め方等で認められないもの、市民の暮らしに大きく影響する、また市民の負担が増える内容のものがある場合、基本的には反対の態度をとってきています。

今回のように、駐輪場には賛成だが、年金天引きには反対のため、予算に反対する場合、その理由を討論で明らかにしています。

一括計上される予算に対する態度は、それほど厳密さが求められるものと考えています。

後期高齢者医療制度でも、年金天引きに対する怒りは大変なもので、全国で反対運動が起こっています。こうした状況をみれば、今回の補正予算案の中に、市民生活に大きく影響を与える「年金天引き」の予算があつたことに一切触れず、駐輪場建設問題のみを語ることは、市民の信託を得た議員として責任ある態度とは言えません。

日本共産党市議団は今後も、駐輪場建設を全議員が協力して推進していくことを呼びかけます。

